

教材 3-(1) 文字、^{ふ、ごう}符号の記述

次はユキ (Yuki) とケン (Ken) の会話です。(例) を参考にしながら、[]内のすべての文字を順番をかえずに用いて、英語の文として正しい形になるように書き直さない。その際、必要に応じて、□の中から適切な符号を選んで加えること。また、(1) については右の日本語を参考にすること。

(例) [sheisateacher] → (答え) She is a teacher.

(1) Yuki : [doyouliveinkanagawa] 「君は神奈川に住んでいるのですか。」

Ken : [noidont] 「いいえ、ちがいます。」

(2) Yuki : [whatshisname]

Ken : [hisnameisnaoki]

• , ? ' ,

教材 3-(2) 文字、^ふ符号^{ごう}の記述

次はエミ (Emi) とケン (Ken) の会話です。[] 内の単語の順番をかえずに、英語の文として正しい形になるように書き直さない。その際、必要に応じて、下の□の中から適切な符号を選んで加えなさい。

(例) [she is a teacher] → (答え) She is a teacher.

(1) Emi : [can you open the window ken]

□

Ken : [yes of course]

□

(2) Emi : [whos that boy]

□

Ken : [i dont know him]

□

□
• , ? ,

教材 3-(3) 文字、符号の記述

次はエミ (Emi) とトム (Tom) の会話です。[] 内のすべての文字の順番をかえずに、英語の文として正しい形になるように書き直さない。その際、必要に応じて、下の中から適切な符号を選んで加えない。

(例) [sheisateacher] → (答え) She is a teacher.

(1) Emi : [doesyourbrotherlikeenglish]

Tom : [yeshedoes]

(2) Emi : [whatareyoudoingtom]

Tom : [imwatchingtv]

• , ? ,